

特集 暮らしを支える 未来へ向けた道づくり



◇市道和泉通線
 東舞鶴駅周辺の土地区画整理事業により整備した道路を延伸し、南側の府道小倉西舞鶴線までを4車線化します。南北の幹線市道を整備することで、交通の円滑化と渋滞の緩和、歩行者の安全確保のほか、良好な居住環境の形成、防災機能の強化を図ります。



▲延伸が予定されている和泉通線



▲渋滞する国道27号(大手交差点付近)

◇国道27号西舞鶴道路
 国が整備を進めている上安〜京田間を結ぶ約4・9キロの4車線の幹線道路。災害に強い道路ネットワークの確立や西市街地の渋滞緩和、京都舞鶴港と舞鶴若狭自動車道とのアクセス向上を図ります。

◇府道小倉西舞鶴線
 府では、東西市街地の一体化と渋滞緩和、交通の安全を確保するために、国道27号西舞鶴

道路は私たちにとって身近で生活に欠かすことのできない社会の財産です。快適な道路環境の整備は地域の活性化につながります。市では、より良い生活基盤づくりに向け、国・府と連携しながら、市内の道路網の充実に取り組み、子どもから高齢者まで安心して通行できる、人にやさしい道づくりを目指し、道路環境の整備・維持に努めています。



◇市道野原大山線
 市街地と連絡する幹線道路であり、周辺部の地域振興と定住促進のため、道路拡幅工事に取り組んでいます。



▲道幅の狭い白鳥トンネル

◇市道引土境谷線
 国道27号西舞鶴道路と引土を結ぶ市道のうち、境谷と伊佐津の区間約370メートルを2車線の道路に整備。市街地へのスムーズな流れを誘導し、渋滞の緩和を図ります。良好な交通ネットワークを形成することで、歩行者の安全確保と防災機能の強化に努めます。

道路と接続する倉谷地区や道幅が狭い白鳥トンネル区間について、4車線化の早期実現を目指します。

市道北吸森線

渋滞が緩和され、安全性が向上しました！



▲カーブがきつく歩道のない工事前の様子



▲カーブと道路勾配を緩め歩道を設置

市道北吸森線では、道路改良工事を実施。府道小倉西舞鶴線の渋滞原因の一つであった森地区にある白鳥踏切の通行から、線路上を越える道路へ切り替えることで、慢性的な渋滞が緩和されました。

また、北吸地区では、カーブと道路勾配を改良し、歩道を設置することで、交通安全の向上を図りました。



▲急な斜面に鋼管杭を建て込みながら橋の建設工事を進める



▲谷側に張り出した橋が完成

